

あきたゼロカーボン達成に向けた取組シート

一般社団法人あきた地球環境会議

は、次のことに取り組んでゼロカーボン達成を目指します。

取組区分

緩和

... 温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化を食い止める取組

※緩和に含まれる[1]から[30]の取組の中から必ず1つ以上を選択してください。

適応

... 避けられない気候変動の影響に対処し、被害を回避・軽減する取組

資源循環

... 廃棄物の抑制、利用、適正処理による環境への負荷を低減する取組

緩和

1. 節電

- ☒ [01] 照明のこまめな消灯や間引き点灯
- ☒ [02] 冷暖房の管理(夏28℃、冬19℃程度)
- ☒ [03] 未使用機器のプラグを抜く
- ☒ [04] その他

省エネ機器を使用、家電の省エネモード、冬期間の厚着

3. 省エネ設備等の導入

- ☐ [09] LED照明
- ☐ [10] 高効率空調設備
- ☐ [11] エコカーへの切替
- ☐ [12] 省エネルギーフォームやZEB化
- ☒ [13] その他

事務機器は省エネタイプを設置

2. 節水

- ☒ [05] 蛇口をこまめに閉める
- ☐ [06] 漏水がないかの点検
- ☐ [07] 節水器具の設置
- ☒ [08] その他

節水を呼び掛ける張り紙設置

4. 再エネ等の利用

- ☐ [14] 再エネ由来の電力への切替
- ☐ [15] 太陽光発電設備の設置
- ☐ [16] 蓄電設備の設置
- ☐ [17] オフセットクレジットの利用
- ☐ [18] その他

5. 働き方の改善

- ☒ [19] クールビズ・ウォームビズ
- ☒ [20] テレワーク
- ☒ [21] エコドライブ
- ☒ [22] 徒歩・自転車通勤の奨励
- ☐ [23] 公共交通機関の利用奨励
- ☐ [24] その他

6. 見える化・目標設定等

- ☒ [25] 電気・水道使用量の事業者内での共有
- ☐ [26] 温室効果ガス排出量の算定・公表
- ☐ [27] 温室効果ガス削減目標の設定
- ☐ [28] 省エネルギー診断の受診
- ☐ [29] 温暖化対策担当の設置
- ☐ [30] その他

エネルギー管理士への省エネ相談

適応

7. 暑さ対策

- ☐ [31] 建物の緑化・グリーンカーテンの設置
- ☐ [32] 夏季の時差出勤
- ☐ [33] クールシェアスポットの設置
- ☒ [34] その他

サーキュレーターの活用、個人での対策(衣類の工夫、冷感アイテムの使用等)

8. 防災対策

- ☐ [35] 防災マニュアルの策定
- ☐ [36] BCP(事業継続計画)の策定
- ☒ [37] ハザードマップの設置
- ☐ [38] 浸水・雪害対策
- ☐ [39] 地域の防災活動への協力
- ☐ [40] その他

資源循環

9. 食品ロスの削減

- ☒ [41] 職員への周知・啓発(食べきり、てまえどり、使い切り)
- ☐ [42] 事業活動での排出削減
- ☒ [43] フードドライブ
- ☐ [44] その他

10. 廃棄物の削減

- ☒ [45] 3R
- ☒ [46] コピー用紙の削減
- ☒ [47] マイボトル・マイカップの利用
- ☒ [48] ごみ拾い活動の実施
- ☐ [49] その他

その他	11. その他環境に配慮した行動
	☐ [50] 植林活動 ☐ [51] 環境イベント・キャンペーンなどの実施 ☒ [52] あきエコどんどんプロジェクトのダウンロード推奨 ☐ [53] 地域の美化清掃活動への参加 ☒ [54] その他（例：上記以外に取り組んでいる環境に配慮した行動のほか、条例に基づく温室効果ガス抑制計画書の作成・提出の有無、市町村実行計画(事務事業編)を作成している場合はその名称・計画期間などを記載してください。） ・事業者及び住民に対する脱炭素に関連する普及啓発(セミナー開催、気候変動教育実施等) ・温室効果ガスの排出の実態調査及び情報提供 ・温室効果ガスの排出量の削減ため等のための照会及び相談対応 ・秋田市地球温暖化防止活動推進センターの運営

登録更新の場合(前期の取組の成果や感想等)

【留意事項】

- ・本様式は県公式サイト「美の国あきたネット」又は県地球温暖化防止活動推進センターの公式サイトに掲載します。(様式第1号は掲載しません。)
- ・取組は複数選択が可能です。緩和に含まれる[1]から[30]の取組の中から**必ず1つ以上選択**してください。
- ・「その他」を選択した場合は自由記述欄に取組を記載してください。
- ・新規登録の場合は、「登録更新の場合(前期の取組の成果や感想等)」の記載は不要です。

【記載例】
1. 節電
☒ [01] 照明のこまめな消灯や間引き点灯 ☒ [02] 冷暖房の管理(夏28℃、冬19℃程度) ☒ [03] 未使用機器のプラグを抜く ☒ [04] その他 使用頻度に応じて、コピー機の稼働台数を制限する。